

水産海洋研究，県単独事業 (漁海況解析手法に関する研究)

平手康市*

沖縄県の周辺海域は、西側に地球規模でも有数の強い流れである黒潮，東側に亜熱帯循環域とその中を日常的に來遊する中規模渦，南側に黒潮の源流となる北赤道海流が存在しており，それぞれの複合的な影響を受ける海洋環境にある．このような複雑かつ動的な海洋環境は他県に類を見ず，この海域で営まれる本県の漁船漁業での漁場の探索および選択においては

【必要性】本県周辺海域における漁況及び海況に関する情報は極めて乏しく，その解析及び予測手法については皆無である．しかし，これらの情報は，漁船漁業における漁場探索，海面養殖漁業における成育管理及び漁港における防災対策（高潮等）には必要不可欠である．こうした情報収集及び解析手法を開発することは本県の水産現場にとって過重な負

担であり，公益的な立場から水産海洋技術センターにおいて研究開発を行う必要がある．

【効率性】海洋シミュレータ **Fra-Jcope2**(仮称)は独立行政法人水産総合研究センターにおいて開発され，水産海洋研究センターは調査船図南丸による海洋観測結果を提供しており，その使用も可能なので，効率的に解析手法の開発が行える．また，予測手法の開発に関しては，水産総合研究センターと連携を密にして実施することが可能である．

【有効性】本県周辺海域における漁海況予測手法を開発することによって，本県の主な漁船漁業であるマグロ延縄及びソデイカ漁業の漁場探索に要する経費を大幅に削減することが出来ることは元より，定置網漁業，モズク養殖及び沿岸漁業など本県の水産業全般に対して，広く貢献できる．

* E-mail : hiratekc@pref.okinawa.lg.jp ， 現所属：沖縄県栽培漁業センター